

市販車部門最速車はフェラーリBB

フェラーリ365GT4BB

最高速度=277.99km/h O~400m=12.90秒

世界最速のスポーツカー「フェラーリ」の定評を実証したのがフェラーリ365GT4BBである。市販スポーツカー、かつチューニングカー部門でも、これ以後、記録更新を果たしていないので、市販車最速として記録されている。

例によって、望月氏のテストによれば、「北側ストレートを5速全開で加速する。速度計はまたたく間に270km/hを指す。西バンクを全開のまま入ると、スピードは徐々に低下し260km/hでサチュレートする。そして計測地点のある南側ストレートに入る。速度計は270km/hから少しずつ上昇する。計測地点を過ぎると指針は280km/hをオーバーし、車速はまだ上昇の気配がある。この区間の実測値が277.99km/h、谷田部のストレートがあと3kmほど長ければこの車の真の最高速はおよそ285km/hに達することだろう。それにしても速い。」となる。



7 ポルシェならではの速さを実証

ポルシェカレラRSRライトウエイト

最高速度=263.74km/h

O~400m=12.19秒



スポーツカーの雄、ポルシェ。そしてチューニング911の最速車が、このカレラRSRだ。レポートによれば、「見た目には、なみの911カレラと変わりなく、タイヤが太目のピレリであることに気付く程度で、これがポルシェ911のスピードレコードホルダーになる車とは、とても思えない。しかし、一旦、エンジンが目

覚めるといかにもハイエナジーの排気音が底知れないパフォーマンスを誇示する。アクセル開度に対するレスポンスは敏感そのもので、空吹かし3000rpm以上では、まさにレーシングエンジンそのもののフィーリングとなる。4000rpmの半クラッチでは、60プロファイルのピレリCN36といえどもトルクの負担に耐え切



ポルシェ・カレラRSRのエンジン
3200PS/5600rpm
32kg/6700rpm
6.7kg/6700rpm
6.7kg/6700rpm
6.7kg/6700rpm

れず激しくホイールスピンしてしまう。これではゼロヨンベストタイムは叩き出せない。3500rpmでの控え目な発進、これでO~400mを12秒19という本誌歴代1位のタイムをマークした。ストレートでの伸びも素晴らしく、263.74km/hをマーク、ストレートがもう3km長ければ8000rpmに達したに違いない。」

8 スーパー・ソアラ登場！心臓はターボDOHC

ソアラ2800GT・HKSターボ(AT)

最高速度=245.73km/h O~400m=13.78秒

発売1ヵ月後、早くもソアラのチューンド仕様をテストした。その心臓はDOHCとターボをドッキングした、まさにスーパーソアラといったマシンである。

例によって望月修テストレポートは「久しぶりにHKSターボによ



5M-GEU型DOHCにドッキングしたHKSターボ。大容量の空冷式インタークーラーを装着、パワーは260PS近くにまでアップ。

るハイスピードチャレンジを行なった。ソアラのエンジンはノーマル仕様の場合、最高出力170PS/5600rpmであるが、これに0.8~1気圧のブーストを加えて250PS/6000rpm程度にまで高められている。1気圧にブーストを上げた時の走りは素晴らしいものがあつた。出力特性的にはスポーツターボそのものであり、トルクは4000rpmを境にして劇的に盛り上がるタイプ。結局、ゼロヨンのベストは13秒78。ATのトルコンスリップというハンディを考慮すれば驚異的な速さといってよい。マニュアル・ミッションならば12秒を割る可能性は十分にある。最高速度もぐんと跳ね上がった。実に245.73km/hをマークしたのである。」

